

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3873400208		
法人名	(有)介護支援サービスしるもと		
事業所名	グループホームサマリヤの家		
所在地	上浮穴郡久万高原町上野尻甲623-2 (電話) 0892-21-2233		
管理者	亀井 慶子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月15日	評価確定日	平成20年8月22日

【情報提供票より】 (平成20年6月30日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年9月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤	5人, 非常勤 7人, 常勤換算 7.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年6月30日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 95.3歳	最低 89歳	最高 103歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者や管理者は、日々の中で理念を具体的に職員に伝えておられ、法人代表者の熱意や思い等を共有し、日々取り組んでおられる。  
 職員は、ほとんど入れ替わることなく、入居当初から利用者の状態を把握し支援しておられ、利用者との関係は馴染みの関係となっている。  
 かかりつけ医の協力のもと、かかわる人たちと密に相談しながら、チームで看取り支援にも取り組まれた。  
 100歳を超える利用者の方も複数人おられ、お食事や休む際もご自分のペースで行えるよう、職員は、ご本人の行動を察知して対応されていた。食事は、好きなものを食べられる分だけ用意されており、ご自分のペースで自分の力を使って食べられるようにサポートされていた。又、ほとんどの方が、布パンツで生活しておられる。

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この一年間、便秘がちな方に寒天やお芋、野菜、オリゴ糖を使用し、薬にできるだけ頼らず、食べ物を工夫して解消できるよう取り組まれた。</li> </ul>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価は、職員個々で取り組み、管理者がまとめられた。職員は、日々の利用者とのかかわり方について振り返り、利用者一人ひとりとのコミュニケーションの大切さを改めて感じておられた。</li> </ul>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は、法人全体で行われており、会議時に避難訓練を行い、課題点を明確にされた。又、事業所の取り組みを報告し、理解を深めていただけるよう取り組まれている。</li> </ul>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の来訪時に、意見や要望をお聞きしている。又、第1回、家族会を開かれた。今後、家族会を年に2回開催することを予定されていた。</li> </ul>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の方と以前からお知り合いの利用者もおられ、散歩の途中等、お話をされている。又、野菜をいただいたり、事業所の行事等に、料理を手伝って下さったり、踊りを披露していただくこともある。</li> </ul>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームサマリヤの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

亀井 慶子

評価完了日

平成 20 年 6 月 30 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			当ホームは開設当初より、住み慣れた地域での安心した生活と本人の望む自由な暮らしを支えるための理念を職員全員でつくりあげている。		職員全員で取り組んでいる。
			(外部評価)		
			事業所では「自由権の尊重」を理念に掲げ、地域とかわりを持ち、「利用者一人ひとりが主役の暮らし」を支援できるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			代表者と管理者が様々な場面で、理念の大切さと実践に向けた取り組みについて職員と話しをしている。新人研修際には特に理念を理解してもらえるよう話し、日々のケアに生かせるよう取り組んでいる。		全ての職員が理念の実践に取り組めるよう、カンファレンスなどでも話す機会を持つようにし、一人一人の利用者さんの笑顔が1日1回はみられるよう取り組んでいる
			(外部評価)		
			法人代表者や管理者は、日々の中で理念を具体的に職員に伝えておられる。職員は、法人代表者の熱意や思い等を共有し、日々取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の方やご家族には入居時、訪問時、運営推進会議等折に触れお話するように取り組んでいるが、まだまだ浸透しているとは言い難い。		地域密着型サービス事業所として利用者を支えていくために、もっとも言葉や実践、パンフレット等を用い理念を入れて様々な時に伝えるよにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員がホームの近隣に住んでおり、農作物をいただいたり、散歩の途中、立ち話をしたり利用者を含め顔なじみになっていて日常的に親しい関係が出来ている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会にも加入しており、公民館の行事、婦人会、高校の文化祭のバザーや近所の幼稚園、保育所の行事にも声をかけてもらい行事など参加させてもらっている。運動会では玉入れの競技にも参加させてもらっている。 (外部評価) 近所の方と以前からお知り合いの利用者もおられ、散歩の途中等、お話をされている。又、野菜をいただいたり、事業所の行事等に、料理を手伝って下さったり、踊りを披露していただくこともある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成への貢献と、職場体験や、実習生を受け入れている。		認知症に対する啓発事業として、ご家族や地域の方々も対象に
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員全員で行い、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果はカンファレンス時に報告し、別途個々に細かく読み取り、実践につなげるよう指導しているが、改善計画シートは作成しておらず、口頭での改善指導にとどまっている。 (外部評価) 自己評価は、職員個々で取り組み、管理者がまとめられた。職員は、日々の利用者とのかわり方について振り返り、利用者一人ひとりとのコミュニケーションの大切さを改めて感じておられた。この一年間、便秘がちな方に寒天やお芋、野菜、オリゴ糖を使用し、薬にできるだけ頼らず、食べ物を工夫して解消できるよう取り組まれた。		評価の意義と目的を、職員にわかりやすく伝え、改善計画シートの作成による具体的な実践につなげるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議にはご家族、行政職員、地域の様々な立場の方々、消防署の職員の参加があり、ホームの取り組みを知っていただくと共に、参加者の質問、意見、要望など双方向的な会議になっており、外部社からの意見を質の向上につなげられるよう取り組んでいる。		近所の方々にも声をかけているが、あまり出席出来ない状態である。今後気軽に出席して頂けるよう、声かけをし、交流に努めたい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(外部評価)		
			会議は、法人全体で行われており、会議時に避難訓練を行い、課題点を明確にされた。又、事業所の取り組みを報告し、理解を深めていただけるよう取り組まれている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			町が月1回行っている地域ケア会議に参加するようにし、情報の共有を図っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられ、年に1回は、相談員の方々と町内事業所の意見交換が行われている。いただいたご意見等をもとに、ケア等の振り返りをされている。		実際に権利擁護に関係する利用者がいないため、その時だけの学びになってしまっているため、しっかり理解を深めるよう継続した勉強会等を行うよう取り組む。
			(自己評価)		
			研修出席者が学んだことや、パンフレット等を持ち帰り、全職員に周知している。		
			代表や管理者が虐待防止に関してははっきりとした考え方や、方針を持っており、常にカンファレンスなどでも話し合っている。職員の教育、指導もしっかりされている。		ストレスが虐待を生むとも言われており、身体的、精神的、全ての虐待を生じさせないよう継続的にあらゆる取り組みをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には、当ホームのケアに関する考え方や取り組みなどをはじめ、グループホーム協会から出ている利用者の権利、倫理綱領等を契約書と一緒にお渡しして不安のないよう十分に説明し、理解、納得をいただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月2回来訪しており、利用者が外部の人に思いを話せる機会となっている。また、管理者、職員にも話すことが出来るよう、個々の部屋での会話を持つようにしている。出された希望や、要望は運営や日々のケアに活かしている。		介護相談委員と、職員との間で介護相談員活動報告(兼)意見交換記録票を取り交わしている。介護相談員さんより、相談の内容、意見など記入してもらった後、施設、事業所としての考え方、検討内容などを記入し全職員が目を通し、ケアなどに活かせるようにしている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月利用請求時に近況報告の手紙を同封している。また、来訪時にも往診時の報告や、ケース記録、写真を見てもらい本人の暮らしぶりや、日常の様子などお伝えしている。状態変化時はその都度、家族に電話で報告している。金銭管理は個別の出納帳で管理してしており、毎月、家族に報告、確認して頂いている。		
			(外部評価) 利用者ご本人の誕生日にはご家族も招き、一緒に食事をされている。又、サマリヤ便りで事業所全体の取り組みをお知らせし、利用者個々に健康状態や金銭管理状況の詳細を報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族が来訪時に、出来るだけ管理者が時間をとり、気軽に何でも話してもらえるよう留意している。不満や苦情は言い難い事もあるため、家族会を設けたことで、今後苦情や、要望など家族の代表よりみんなの声としてあげてもらい、運営に反させたい。		今年の春、家族会を設けることが出来た。ご家族の願いをくみ上げ意見など運営に反映させたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、意見や要望をお聞きしている。又、第1回、家族会を開かれた。今後、家族会を年に2回開催することを予定されていた。		事業所では、ご家族と利用者ご本人が会う機会が少しでも増えることを願っておられる。家族会の内容の工夫等からも、ご家族の意見の引き出しの工夫を重ねていかれることが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者、管理者は常に職員の要望や意見を聞くよう心がけている。管理者にいろいろ相談事はあるが、不満や苦情は言いにくい部分もあるため、職員間で話し合い職員の代表を決めることで、みんなの声を上げてもらっている。		日頃からコミュニケーション図るように心がけ、職員のストレスなど溜まらないよう、意見、要望、提案がホーム内に反映されるよう取り組んでいきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況の変化や自由な生活に合わせられるよう、柔軟なローテーションを組むようにしている。又、季節により時間帯も変えている。夜間、必要時には管理者が夜勤補助に入り2名体制を取っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 殆どの職員が馴染みの関係になっている。移動や離職がやむお得不い場合でもダメージを少なくするよう努力している。新人職員は利用者やご家族に紹介し、理解をもらっている。		
			(外部評価) 職員は、ほとんど入れ替わることなく、入居当初から利用者の状態を把握し支援しておられ、利用者とは馴染みの関係となっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人研修をはじめ全ての職員が、段階に応じた研修や、受講する機会を作り、積極的に参加してもらっている。受講後は報告書を提出してもらい回覧することで、共有している。		毎月グループホーム連絡協議会の研修に参加している。
			(外部評価) 外部講師を招いて勉強会を行われたり、ケアや技術等は、日々の中で先輩職員に習っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>他市町村のグループホーム交流として、相互研修を行い見学や意見、情報交換を行っているが、町内の他のホームの方とは、会議などで同席したとき、話しをする程度ホーム同士の交流には至っていない。</p>		町内のグループホーム同士でも交流が出来るように、今後行政とも相談する。
			(外部評価)		
			<p>相互評価に参加され、職員は、他市の事業所と交流をされた。キャラバンメイトの研修を開催し、地域の方に多く参加いただいた。</p>		職員は、利用者への接し方について他事業所を見学し、学びたいと考えておられる。又、町内の事業所との交流についても取り組みをすすめていかれてはどうか。
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>代表者、管理者は食事会など気軽に話せる機会を設けたり、日常的に職員のストレスや悩みの把握に努めているが、全ての職員のメンタルヘルスケアが十分とはいえない。</p>		親睦の機会を多く持ち、話すことで精神的ストレスの軽減と、勤務時間中にも気分転換を図れるよう、短時間でも、交代で休憩する等身体的ストレスの軽減を図れるよう取り組む。
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>介護福祉士、介護支援専門員など、資格修得に向けた支援を行っている。職員個々の状況を把握し、向上心を持って働けるよう日常の超えかけや、評価を行っている。</p>		資格取得者には資格手当を支給している。
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>できるだけ生活状況の把握に努め、利用者によって訪問＞入居の段階を踏み信頼関係を作ることにより本人、家族が安心出来るよう努力している。</p>		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族が困って相談を持ちかけられたときは、困っていることをじっくり聴くことで、不安なこと、求めている事を、双方の理解と納得がいくまで話し合いをするよう努めている。場合によっては他のサービスにつなげることもある。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談者に対しては可能な限り柔軟な対応を行っている。場合によってはケアマネージャー等と連携の上他のサービスにつなげることもある。		当ホームは原則として利用者申し込み順に、入居してもらっているが、共同生活が困難等特別のことがない限り利用者の状態に対して柔軟な対応を取らせてもらっている。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 病院や他の施設から、グループホームに入居したケースが多いが、場所、環境の雰囲気になじめないよう家族などと相談しながら支援している。入居間もないときは職員が同室で一緒に泊まるなどし、安心してもらうよう支援している。 (外部評価) 職員は、利用者の興味のあることやこれまでのことを把握し、対応できるよう心がけ、ご本人との信頼関係作りに努めておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に時を過ごす家族のような関係作りに努めている。毎日と一緒に過ごすことで共に喜び、共に哀しみ、支え合っていく生活を作り上げていく努力をしている。 (外部評価) 利用者へ、お若いころの暮らしのことを教えていただいたり、地域のことを教えてもらうこともある。		利用者さんが今まで生活してきた中で、料理の仕方や、植物の名前など教えてもらったり、会話のきっかけ作りをしている。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 様々な家族の在り方があるが、それぞれに置かれた家族の思いに寄り添いながら喜怒哀楽を共にし、本人を支える関係を築くよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) それぞれに家族の形態や、歴史があるので、本人と、家族の潤滑油になるよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 個々の能力に合わせて馴染みの人や、場所との関係がとぎれないように支援している。墓参りに行ったり、デイサービスに知り合いが来た時は会いに行ったり、訪問してもらったりしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲の良い利用者さん同士で座ってもらったり、孤立しがちな場合は、職員がうまく交わる場面を設定したりしながら利用者同士の関係の支援をしている。		共同生活なので、トラブルが起こったときは、原因を把握し双方にイヤな思いを残さないような対応方法の学びをしていく。特に新人職員の研修に力を入れていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホームでの対応が困難になり、長期に入院となって利用者、家族との関係を断ち切らないよう、お見舞いに行ったり相談に乗っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の関わりの中で職員一人一人が本人の意向の把握に努めている。可能な限り本人の意向を第一にしているが、意思疎通の困難な場合は、本人の表情、仕草から汲み取ったり、家族の希望を聴くようにすることで、本人の思いが叶うよう努力している。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者個々の性格等も把握し、対応されている。又、日々の利用者とのコミュニケーションやご家族との会話の中からご本人の思いや意向の把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 普段の関わりの中から、本人自身への聞き取りや、家族・友人が来訪時に職員が把握に努めるようにしている。</p>		<p>センター方式の様式を利用することで、本人の生活歴や、生活環境、馴染みの言葉等把握するよう努力している。</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の出来ること（排泄、睡眠、生活習慣等）を日々の関わりの中で職員全員に周知し、把握するように努めている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人や家族の希望や思いを、普段の生活の中からくみ取り、センター方式の様式を採り入れたことで、プランに生かせるよう努力している。</p> <p>(外部評価) ご本人の希望や思いを中心に、ご家族のご意見もうかがいながら介護計画を作っておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画は1ヶ月～3ヶ月、又、状態変化時には見直しを行っている。要介護認定更新時には、本人、家族、職員から聞き取りを行い見直しが行われている。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しと状態変化に応じて、随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケース記録に、一人一人の状態（食事、排泄、入浴、口腔ケア、血圧、水分）や会話など生活状態が分かるように時間を追って記入が出来るよう共有し、実践している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			併設のデイサービスのイベントへの参加や、同事業所のイベントへの参加などの交流をしている。今までの行きつけの理美容院の利用や、個別の外出、松山市の病院の受診等必要に応じ本人・家族の状況や要望を軸に臨機応変に対応している。		
			(外部評価)		
			支援センターや併設のデイサービスとの交流等、利用者の生活を上げていけるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域ケア会議、運営推進会議などで、協力お願いし、普段から連携を取っている。また、保育園、幼稚園、学校等の行事への参加や職場体験の受け入れ等行い、地域で安心して暮らしていけるよう支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事行書の文化祭に参加させてもらったり、同法人内にあるデイサービスに遊びに行かせてもらったりしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センター職員の出席もあり日常的に相談や、援助など受け情報交換や協力関係が築けている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望するかかりつけ医に月1回往診してもらっている。体調不良時は随時職員が同行し、受診をしている。眼科や総合病院受診も職員が同行し受診できるよう支援されている。 (外部評価) かかりつけ医といつでも連絡が取れるようになっており、相談しながら利用者個々を支援しておられる。又、かかりつけ医とご家族が話し合うような機会も設けられている。		ターミナルケアに向けては、主治医の先生がいつでも対応が出来るよう協力をしてくれている。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門の医療機関として、心療内科があるため家族と協力し必要に応じて通院介助を行ったり、服薬指導をしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には出来るだけ短期間で退院出来るよう主治医と話をする機会を多く持ち、家族とも情報交換しながら、早期退院に向けて、職員が、頻繁に見舞うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居後早期の段階で重度化するホームの考え方、対応方針、医療との連携等十分に説明し意思の確認を行っている。又、状況の変化に応じて話し合いを繰り返し、十度化や終末期に向けた支援を行っている。 (外部評価) かかりつけ医の協力のもと、ご家族・事業所が連携して看取りを支援されている。ご本人やご家族の希望に沿って支援できるよう随時、かかわる人たちと密に相談しながらチームで支援された。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医療関係者とホーム側が連携を取り、安心して納得した穏やかな最期を迎えられるよう、随時意思を確認しながら取り組んでいる。		現在は病院との連携でターミナルケアを行っている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移り住む場合、ホームでのご本人の情報をプライバシーに配慮しつつ出来るだけ多く情報提供し、住み替えによるダメージを軽減するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) カンファレンス時等折々に職員の意志向上を図ると共に、その時々に関わり方を代表者や管理者が利用者の誇りや、プライバシーを損ねない対応の指導に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者に対して同じ目線で、笑顔で接することに心がけておられる。居室のポータブルトイレは使用しない時には布でカバーをされていた。調査訪問時、職員は、利用者に対して指摘するのではなく、ご本人自身が気付けるよう、言葉かけに配慮をされていた。</p>		<p>個室に設置しているポータブルトイレの位置などの配慮や、人前でのトイレ誘導の声かけ、入浴時の羞恥心等に対する配慮を行っている。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 一人一人の持てる力に合わせて、入浴時の衣類の選択、買い物時の選択、おやつ時の飲み物の選択等、出来る限り自己決定してもらうよう支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 基本的な1日の流れはあるが、一人一人のペースを尊重し「早く」「待って」と言う言葉をできるだけ使わないよう心がけて、利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう努めている。</p> <p>(外部評価) 100歳を超える利用者の方も複数人おられ、お食事や休む際もご自分のペースで行えるよう、職員は、ご本人の行動を察知して対応されていた。食事は、お好きなものを食べられる分だけ用意されており、ご自分のペースでご自分の力を使って食べられるようにサポートされていた。又、ほとんどの方が、布パンツで生活しておられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替え等本人の意志で決めてもらっているが、自己決定がしにくい支援の必要な利用者は職員が手伝ったり、見守りを行っている。理容、美容は本人が行きたい時、行きつけの店に行けるよう支援している。		利用者さんの中で、2ヶ月～3ヶ月に一度理美容院を利用している。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 家庭菜園で育てた野菜を利用者さんと一緒に採りに行ったり、調理の下準備や、片付けなど一緒にしている。昼食時は利用者さんと一緒に同じテーブルに着き同じものを食べ楽しい雰囲気で作られている。 (外部評価) 畑で採れた完熟のトマト等、新鮮な野菜をふんだんに使用して食事が作られている。小さな器に少しずつ盛り付け、「目でも食べる」ことを楽しめるよう支援されている。利用者それぞれ落ち着ける場所があり、職員がそっと隣に座り、一緒に食事をしながらサポートされていた。		利用者さんに合わせた食べやすい食事（おにぎり、寒天、等）食欲のない利用者さんには好みのものを食べてもらえるよう気を付けている。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者さんが自宅と同じように嗜好品を楽しめるよう、（甘い物など健康管理しながら、お酒を1日1合食後自室で）支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人一人の排泄パターンを把握し、出来る限りトイレで排泄できるよう声かけやトイレ誘導を行っている。紙パンツから布の下着に替えることで不快感の排除、自己負担である排泄用品の出費の軽減に努めている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴回数、時間など一人一人の希望に合わせて心がけている。職員が見守りや介助をし、ゆっくり入浴できるよう配慮している。		毎日くらい入浴をされている利用者さんもいる。また、入浴時自分の下着など、洗濯をされている方もいる。
			(外部評価)		
			好みの湯加減に調節して入浴を楽しまれたり、シャワーが苦手な方は洗面器を使っておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や買い物、日光浴など日常の活動を等して生活リズムを作り、安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			入所前に出来ていたことなどを把握したうえで、台所仕事、洗濯、花の世話など利用者一人一人が無理の無いよう楽しんで行えるよう、役割が持っている。また、花見や、イチゴ狩り、花火大会の見学など季節に沿った楽しみごともある。町外に、必要な物を買いに職員と出かけるなど気晴らしの支援を行っている。		
			(外部評価)		
			お寺やお宮参りをされる方や「四国霊場八十八ヶ所参りすごろく」を職員が作り、皆で楽しめることもある。		事業所では、利用者の笑顔が見られるよう、一人ひとりが楽しめるような場面を作りたいと考えておられる。さらに、介護計画に盛り込み、ご家族等の協力も得ながら、支援していくことを考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			雄子図解を自分だ管理している利用者さんもいて、買い物、散髪等自分で支払っており、利用者一人一人の能力に応じ支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩時の近所の人との会話や、毎日の買い物は必ず利用者さんと一緒に出かけている。近所の神社にも利用者さんの希望があるときは、いつでもお参りに行っている。また、地域の行事などにも積極的に参加している。		
			(外部評価)		
			洋服を買いに、町外に行くことを希望される方も支援されている。外食に出かけられたり、ふるさと訪問や季節を感じにお花見に出かけたりされている。		さらに職員は、事業所の芝生の庭等を活用する等、利用者個々の力量に応じて生活を助け、利用者の笑顔が見られるよう、取組みたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お墓参りや、奥さんが入所している施設への面会など本人の行きたいところへ出かけられる支援をしている。		道後温泉に行きたい、宝塚歌劇団を見に行きたいとの希望があった利用者さんを職員と一緒にいき、楽しむことが出来た。今後も一人一人の希望を叶えられるように取り組んでいきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙や、年賀状、電話のやりとりなど、希望に応じ支援している。電話は子機を使用してもらい自室でも話ができるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や、関係者がいつでも気軽に来やすい雰囲気作り、環境作りに心がけている。訪問時間などは定めていない。また、家族の方にも自由に泊まって頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 人権侵害に当たることを職員が認識しており、拘束のないケアを実践している。ベットが高く、転倒の危険がある利用者さんは床に布団を敷くことで、安全にそして安心して生活できるよう、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関に鍵をかけることはない。利用者が出かけるときは必ず同行し、安全に自由に暮らしてもらえるよう支援している。 (外部評価) 事業所の出入り口は、チャイムが鳴るようになっている。気ままに出かけられる方にも職員が交代して支援されていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子が把握できる位置関係を職員が気を付け動いている。玄関にはチャイムを取り付け、出入りが分かるようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者さんに合わせ、そばで見守りながら記録をおこなったり、薬や洗剤など注意の必要な物に関しては利用者の目に触れない場所に保管管理し、危険を防ぐように努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書を作成し、必要なケースは町への報告を行っている。原因究明と再発防止に向け、話し合いを行っているが、軽い転倒事故が多い。		リスク管理を徹底し事故ゼロに向けて取り組みたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作成し、周知徹底を図っている。消防署の協力を得て年に一度、救命救急の勉強会(実技を含む)を実施している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方等の訓練を年1回行っている。自治会にはホームの見取り図と、利用者の身体状況(歩行困難等)をプライバシーに配慮しながら情報提供し、いざというとき1番に駆けつけてもらえるようお願いしている。 (外部評価) 運営推進会議時に、地域の方や消防署の協力を得て、避難訓練を実施されている。課題点等も明確にされた。		いざとなったときあわてないためにも、継続的な訓練を行い、地域の人と協力し合って安全を守っていくよう取組みたい。今年度から、消防士さんに2回の訓練指導、職員間で1回の訓練を考えていきたい。 さらに、すべての利用者が安全に避難できるよう、話し合いや訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の来られたときいろいろなりリスクがあることの説明と、グループホームとしての抑圧感のない生活の維持に向けた取り組みや方針を理解して頂き、出来るだけ本人の自由な生活を損なわないよう努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は普段の状態をしっかりと把握し、些細な変化を見逃さないよう異常の早期発見に努めている。変化に気づけばすぐ管理者に報告、早期対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人一人の処方箋をシートし、使用している。薬を把握し正しく服用できているか確認している。症状の変化時等は協力医療機関に連絡して指示を受けている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材での調理や散歩、水分補給などいろいろ工夫し、自然排便に向けて取り組んでいるが、頑固な便秘になったときは下剤の余儀なくされている方がいる。		改善計画書はないが、食材、メニュー（寒天の使用、オリゴ糖等）や運動量等に工夫をこらすことで自然排便が出来るよう取り組んでいる。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きの声かけを行い、チェック表の記入をしている。歯のない利用者さんに対しては、うがいをしてもらうことで、口腔内の清潔保持に努めている。		食後口腔ケアが出来ない利用者さんがおられるが、少し時間をおいたり、職員が代わって対応することで、行なえるよう取り組んでいる。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養が偏らないよう高齢者食の本など参考に調理を心がけ、食事の摂取状況を毎日チェック表に記入している。水分補給に関しては医師の指示がある利用者さんに対しては個別に記入している。又、普通食の摂取が出来ない方には個別に軟らかく煮たり、寒天の使用など個々に工夫しながら支援している。 (外部評価) 便秘がちな方へも、できるだけ薬に頼らず、寒天やいも類、野菜を使って解消に努めておられる。おやつや散歩からの帰宅時、タイミングを見ながら水分補給できるように、職員は声をかけておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症マニュアルを作成している。職員のうちがいが手洗いについてはチェック表を作り職員全員で実行するよう取り組んでいる。体調不良の職員には休むよう指示し早めの受診を勧めている。		職員のうちがいが、手洗いを実行しているが、帰りは忘れていくことが多いので、完全に取組めるようにしていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾などは漂白や太陽熱乾燥を心がけ、調理器具、冷蔵庫、台所水回りの清潔、衛生に気を付けている。又、自家菜園で無農薬の新鮮で安全な食材を用いている。		
fukinnnado					
ha					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りはデイスサービスと共用なので季節の草花を植えたり、ベンチや椅子を置いてむきしつにならないように工夫している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングが天窓になっており、柔らかい光に包まれているので利用者、来訪者もリラックス出来ていると思う。利用者の手作りの物が飾られており温かく、親しみやすい家庭的な雰囲気がある。ソファを所々に置いたあるので利用者それぞれ好きな場所でくつろげる工夫している。 (外部評価) 装飾等も家の雰囲気を大切にしたいつらえとなっている。ござや風鈴、うちわもあり、夏らしいつらえとなっていた。又、生花が各所に飾られてあり、時々利用者の話題となっていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれが思い思いの場所で過ごせるように、ソファ等複数箇所に設置している。気のあった利用者さん同士で話しをしたり、ベランダに机や椅子を移動し、おやつを食べたりと、楽しめている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者さんの部屋は利用者さんの状態に応じ、洋室、和室を利用できるようにしている。タンスやテレビ、小物など本人の使い慣れた物を持ち込んでもらうようにしている。ご家族の写真や、誕生日の色紙、花など好みの物が飾られており、安心して過ごせる場所になっている。		
			(外部評価)		
			利用者それぞれの身体状態に合わせ、安全等にも配慮した居室となっていた。100歳を超えておられる方は、ご自分で這って共用空間に出て来られるよう、低めのベッドを使用しておられた。誕生日に贈られた色紙や写真も飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			戸や窓は出来るだけ解放することで換気や臭気に気を付けているが、自室のポータブルトイレを利用している利用者があるため、梅雨時などにおいが気になるときもある。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			家具や手すりなどを利用し、出来ることはしてもらうことで身体機能を生かせるよう配慮している。洗濯物を自分で干したい人には、自分で干すことが出来るよう物干しの高さを調節している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各居室にはわかりやすい表札があり、入り口には好みののれんが掛けてある。家庭的な雰囲気を壊さないよう、場所違いや混乱を防ぐ工夫をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			開花に広い庭があり、利用者はそれぞれに散歩をしたりひなたぼっこが出来る空間になってい		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で、本人の希望を聴いて(どういう生活がしたいか、楽しみなことは何か、合いたい人は誰か等)は把握しようと努力している。意思疎通の困難な方は、表情などで推し量ったり、ご家族の意向を聴いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日常的に利用者と職員がゆっくと一緒にお茶を飲んだり、話しをしながら散歩をしたり、利用者さんの部屋で子どもさんの話をしながら、穏やかにゆったりした時間を送っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日のおおまかな流れはあるが、起床、就寝時間、朝食、入浴等時間に縛られず、一人一人の希望やペースに合わせて生活してもらっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のおやつや食事の時間には、職員も一緒に多くの会話を持つように努めている。調理のしたごしらえ、買い物など本人の能力に応じて行ってもらうことにより、生き生きした表情や姿がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常的に外出しており、本人の意向、希望(買い物、病院への見舞い、神社参拝、外食等)出来る限りかなえられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が、利用者の状態を常に把握しており、医療機関へも電話で気軽に相談が出来、状態変化時には、かかりつけ医の受診や、往診をうけることができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の希望や要望を第一に考え、急な外出や、外泊に関しても柔軟に対応し、安心して暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入居料支払い時にご家族の希望や、困っていること、不安なこと等時間を取り、話しを聴くようにしている。悩み事など、相談してくれる家族もいて信頼関係は出来ていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	ひんぱんにに關係視野が来てくれる人や、月1回程度の人もあり利用者によって訪問者数に差がある。デイサービスが平移設されているので、利用者さんの同級生など尋ねてくることもある。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の回数が増えたことで、実際を見てもらい、理解を深めてもらって頂けるようになった。認知症になっても地域に安心できるホームがあるということで、理解者や応援者が少しずつ増えている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の声が明るく常に笑顔がみられ、利用者さんの楽しみなこと、したいことを少しでもかなえることが出来るよう、利用者さんとの1日1日を職員自身が楽しもうとする姿がみられる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者のその時々気分や、状況で正反対のことを言うことがあるが、日々の会話「ここはええとこじゃ」や表情で満足度は概ね把握できている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほぼすべての家族が、家ではこんなには看ることが出来ないと、感謝の言葉をかけて下さるので、概ね満足していると思う。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当ホームは四季折々の自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の人情豊かな下町にあり、1階がデイサービス、2階がグループホームとなっています。 「自由権の尊重」を基本理念に置き、入居所の意志、行動に対して危険性がない限り干渉せず、自立と本人の望む生活を支援することに力を入れて取り組んでいます。開設当初より、地域住民との交流が活発に行われておりましたが、デイサービスが出来たことによって、より一層交流が深まっています。認知症になっても住み慣れた地域の中で、支え合う職員と共に自由に楽しく自分らしく暮らしています。